

2020年11月の星空

中旬 21時頃

佐賀市
星空
かくしゅうかん



★ 今月の天文現象とこよみ

- 1日 天王星が衝
- 3日 文化の日
- 7日 立冬 (りっとう)
- 8日 下弦の月
- 11日 水星が西方最大離角
- 15日 新月
- 22日 上弦の頃
- 22日 小雪 (しょうせつ)
- 23日 勤労感謝の日
- 30日 満月

火星

赤い色が特徴の惑星です。10月に準大接近となり、11月も引き続き観察の好期です。次の大接近は15年後ですからこの機会に観察しましょう。

秋の四辺形

2～3等星4つでできる四角形で、夏の大三角ほどは明るくありませんが、まわりに明るい星が少ないので、意外と目立ちます。秋の星座を見つける目印になります。

アンドロメダ座大銀河 (M31)

天の川銀河の外側、230万光年彼方にある大銀河です。望遠鏡を使っても、ぼんやりと雲のようにしか見えませんが、実際には数千億個の星の大集団です。

すばる

全天でももっともよく知られた星の集団です。視力の良い人は、肉眼でも6～7個の星の集団と分かります。双眼鏡、望遠鏡ではさらに沢山の星を見られる、とても美しい星団です。

秋も深まるこの季節、今年は空高く赤く明るく火星がもっとも目立ちます。準大接近は過ぎましたが、まだまだ観察の好期が続きます。

星座では秋の四辺形を探してみましょう。ほぼ頭の真上に4つの星が長方形に並んでいます。この秋の四辺形はペガサスの胴体部分にあたるため、ペガサスの四辺形ともいわれます。北の空高くには、Wの形をしたカシオペヤ座があります。カシオペヤは古代神話の王妃が椅子に座った姿で描かれています。秋の四辺形の西側の辺を南へのぼした先、ポツンと輝く1等星が見つかります。これは、みなみのうお座のフォーマルハウトです。日本では”みなみのひとつ星”とも呼ばれます。

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星